

乳幼児の顔面のけが、特に前歯を守りましょう

転んだ時にとっさに手をつかずに顔面から激突し、痛々しく顔面を前方からぶつけ、口唇が切れたり前歯が欠けたり折れたり脱臼するケースを診ることがあります。このような痛々しい事故を防ぐために家庭でできることはないでしょうか。

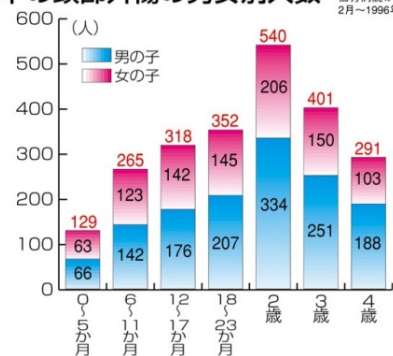
赤ちゃんの時のハイハイが大事です。親御さんとしては、早くつかまり立ちをして歩き始める我が子の成長が楽しみですが、ハイハイをすることにより上半身、特に腕の筋力が鍛えられて、転んだときに顔よりも先に手をつく行動をとりやすくなるそうです。ですからご家庭でも、ハイハイをする筋トレをされてはどうでしょうか。

さらには、お布団の上で子供さんを前抱きにしたところからお布団に子供さんを落として、とっさに子供さんが手をつくようにトレーニングされるのもよいでしょう。



4歳以下の頭部外傷の男女別人数

国民生活センターが全国の20協力病院から収集した1992年2月～1996年7月の調査より



ところで、子供さんがノンペースト歯磨きで洗面所以外のところで歯ブラシをされることは、お行儀悪いことかもしれませんが、お口の中をきれいにするためには良いことです。ただ歯ブラシをくわえたまま走り回ったり、ベッドの上で飛び跳ねたりすることは、思わぬ事故がおこることがありますので、親御さんは気を付けてあげてください。

いずれにしても子供さんが健やかに成長されるために、痛々しいけがをされないように見守ってあげましょう。